

# ひとのあいだ

備前市立日生中学校 2024年10月10日

事前学習資料として

生徒諸君・保護者・地域の方々へ

「ひとのあいだ」は、日生中学校の様子(学校・生徒の取り組み)を知っていただき、ご家庭と連携・協働していくため、そして〈地域と共にある学校〉の取組の一環として随時お届けします。

進路・キャリア〈生き方〉学習会

## 鳴門部屋〈大相撲〉の皆さんをお迎えして

縁あって、鳴門部屋(親方は元琴欧州関\*残念ながら当日は来校されません)の、若い力士さん、行司さん、床山さんらを学校にお迎えして、進路〈生き方〉学習に取り組みます。保護者・地域の方々も参観授業を大歓迎です。

〔問い合わせ・申し込み:日生中(0869)72-1365久次(教頭)〕

- ◆日時:10月23日(水)12:00~12:50(④時間目:総合的な学習)
- ◆会場:日生中学校体育館
- ◆プログラム:1)入場  
(予定)2)学習会の目的(生徒会)  
3)大相撲、部屋についての紹介  
4)来校してくださった方々との交流  
・鳴門部屋の皆さんの紹介  
(自己紹介:出身県等、得意技、趣味や特技・中学生時代など)  
・力士に挑戦(ミニ体験:稽古の一部や力くらべなど)  
・質疑応答  
・日生中学校生徒へメッセージ  
5)生徒会のあいさつ(お礼・学び)  
6)退場〔日生中学校で昼食を取られて帰られます〕

○事前学習資料〔日本相撲協会HPより〕

〔相撲の起源〕

相撲は人間の闘争本能の発露である力くらべや取っ組み合いから発生した伝統あるスポーツである。これによく似た形態のスポーツは古来世界各地で行われた。我が国の相撲の起源としては、古事記(712年)や日本書紀(720年)の中にある力くらべの神話や、宿禰(すくね)・蹶速(けはや)の天覧勝負の伝説があげられる。

〔江戸文化と相撲〕

江戸時代に入ると浪人や力自慢の者の中から、相撲を職業とする人たちが現れ、全国で勸進相撲が行われるようになり、江戸時代中期には定期的に相撲が興行されるようになった。やがて谷風、小野川、雷電の3大強豪力士が出現し、将軍上覧相撲も行われ相撲の人気は急速に高まり、今日の大相撲の基礎が確立されるに至った。相撲は歌舞伎と並んで一般庶民の娯楽として大きな要素をなすようになった。

江戸時代から変わらぬ姿を…大相撲は、長い歴史の中で次第にルール化され、洗練され、様式化されてスポーツとしての形態を整え、我が国固有の伝統文化となりました。土俵入り、番付表、化粧廻し、鬘、着物、相撲の取組。江戸時代と変わらぬ姿を、現在も大相撲で観ることができます。日本の文化に深く根ざし、いつも人々の生活とともにあった相撲です。相撲には歴史・文化・神事・競技など様々な側面があり、それぞれ奥深い要素を持っています。今回の学習会では、若手力士さんだけでなく行司さんや床山さんなどの貴重なお話を聞くことができる機会です。長年続いてきた文化の一端を感じてみましょう。

〔日本相撲協会の構成員〕

力士を引退して年寄名跡を襲名継承したものがその運営にあたり、各相撲部屋は力士を養成する場として、協会に登録された力士を指導養成します。また、入門する力士志望者、および一般の希望者を指導しています。勝負を裁く行司、土俵の構築や力士の呼び出しや競技の進行をつとめる呼出、力士の髪を結う床山、お

よび若者頭、世話人も協会に所属しています。運営の一部は一般職員がその業務を行ないます。

〔本場所の挙行〕

日本相撲協会は現在、1年間に6回の本場所（一月場所、三月場所、五月場所、七月場所、九月場所、十一月場所）を挙行しており、力士の成績によって、その昇降を番附として発表しております。番附編成会議は、本場所終了後3日以内に開催し、横綱・大関・十両昇進力士は直ちに発表しております。他は次回の本場所前に定められる新番附発表日に発表します。

◎参加希望の保護者・地域の方へ

授業参観のご希望がありましたら、学校まで、この申し込み用紙を提出していただくか、お電話・FAXでご連絡ください。

1 参加者お名前 \_\_\_\_\_

2 聞いてみたい質問などありましたらお書きください。

備前市立日生中学校

TEL 0869-72-1365

FAX 0869-72-1366

本件担当 教 頭 久次（ひさつぐ）博文